

事務事業名		キャリア教育推進事業 (NPO法人との協働によるキャリア教育の推進)		所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育推進室
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	キャリア教育推進G	課長名	細木 皇宏
	施策名	(29)青少年健全育成の推進		担当者名	福島 勇樹 青木 拓夫	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241
	目的(対象)	対 青少年(就学後～30歳未満の市 民)	意図 社会でたくましく生き抜く力を身に付ける。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 3 事業名 項 目 中事業 中事業 0 5 1 0 2 7 事業名	教育推進事業 キャリア教育推進事業	
	基本事業名	(089)地域における交流体験・学習活動の推進					
目的(対象)	対 青少年	意図 たくましく生き抜く力を身に付ける。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
質の高い教育の提供への挑戦に向けて、認定NPOとの業務委託により、キャリア教育の推進に取り組む。
これまで取り組んできた、土曜学習、幸雲南塾inさんべなど、社会教育の観点から進めてきたキャリア教育の事業に認定NPOとの協働により取り組む。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 認定NPOへの業務委託によるキャリア教育の推進。 事務処理:契約、毎月の支払 ・トップミーティングとワーキング会議の開催 ・担当者ミーティング、その他協議など 幸雲南塾inさんべ、土曜学習、若者カイギ、マイプロジェクト、マイプロジェクト東京スタディツアーなど。(それぞれ事業費は別途あり。)	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 左記同様				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア トップミーティング	回			9	12
	イ ワーキング会議	回			19	24
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	①中学生 ②高校生	ア 生徒数(中学生)	人			1,073	1,073
		イ 生徒数(高校生)	人			845	834
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
①(中)地域課題や地域貢献に関心をもってもらおう。 ②(高)地域課題に対し、主体的に解決策を考え、実践する。	ア 参加者数(中・高)	人			311	540	
	イ (中3)地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。	%			32.6	36.0	
	ウ (高3)地域課題に対し、解決策を考え、実践したことがある。	%			50.0	55.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
認定NPOへの事業委託 19,958千円	財源内訳	国庫支出金	千円			19,958	11,382
		県支出金	千円				
	事業費	地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円				11,382	
	事業費計(A)	千円			19,958	22,764	
	人件費	正規職員従事人数	人			5	
		延べ業務時間	時間			1,920	
	人件費計(B)	千円			7,515		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			27,473		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南市総合戦略に、質の高い教育の提供に向けた取り組みが掲げられ、認定NPOとの連携・協働を軸とした推進体制の構築に着手した。	取り組み初年度であり、大きな改革改善は実施していない。	保護者: 取り組みを通じた子どもの成長に対して、評価する声がある。 地方創生PT: 参加者数の少なさを指摘する意見がある。

事務事業名	キャリア教育推進事業 (NPO法人との協働によるキャリア教育の推進)	所属部	教育委員会	所属課	キャリア教育推進室
-------	---------------------------------------	-----	-------	-----	-----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合	
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	H27年度はあらたな体制での取り組み初年度であり、運営体制を含めた広報が行き届かなかった部分もあり、保護者はもとより、学校関係者の理解を得ることで、向上余地がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
D 公平性	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	土曜日を中心に取り組む社会教育としてのキャリア教育推進が停滞することで、学校教育と社会教育との連携・協働による取り組み効果に悪循環が生まれる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	政策推進課 若者カイギ事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	目的や意図が類似しており、主管課を教育委員会に移管する。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	委託料の大部分が人件費相当であり、現状は削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	平成27年度から、キャリア教育全般を認定NPOとの連携・協働により実施することとなり、適切な役割分担を確立していくことで、削減余地は考えられる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	すべての子どもたちの成長を支えるプログラムの提供が、中心となる業務委託であり、公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	即効性のある事業ではないが、将来の雲南市を担うリーダーや課題解決型人材の育成に向けた目的とも合致しており、学校や地域との協働を模索しながら、適切な事業実施が図られた。	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>認定NPOとの適切な役割分担を図りながら、こうした協働による取り組みが学校・地域にさらに認知・理解されるような事業展開を図る。(本事業の狙い、これまでの参加者の成長した姿などを生徒、保護者、担任の教員等に伝えるなど) また、若者チャレンジ、大人チャレンジとの連鎖や他地域との連携を深めながら、持続可能な運営体制の構築及びプログラム内容の確立を図る。</p>																								